

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名 (25字以内)	矢向・江ヶ崎 歴史資料室の建設と世代間交流の場作り
提案グループ名 (25字以内)	矢向・江ヶ崎 歴史資料室を作る会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	矢向・江ヶ崎の歴史、文化、地域の特徴を紹介する冊子『わが町 矢向・江ヶ崎の魅力（仮称）』づくりをすすめている。今回提案の資料室建設と、この冊子づくりを2大柱とし、町全体で「矢向・江ヶ崎 地域の歴史と魅力を見直すプロジェクト」をすすめている。
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市鶴見区 江ヶ崎町（新鶴見小学校敷地内） ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	<p>現在、江ヶ崎町の個人宅に保管されている、多数の歴史資料（昔の生活用具、農具など）を常設展示できる「矢向・江ヶ崎 歴史資料室（仮称）」を作る。それらの道具はすべて実際に手に取ってさわったり、使ってみたりすることができる。資料室には遊びのスペースや交流スペースを併設し、地域の大人たち、特に高齢者と子どもたち、その保護者世代が、昔の道具を見ながら話をしたり、一緒に遊んだりして交流を図ることができる。またその会場を使って「昔の遊びを体験しよう」など、さまざまなイベントを企画する。さらに通りがかりにちょっと腰をおろして休んでいけるようなベンチも設け、地域の多世代の人々が交流できる拠点とする。</p> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 1,300万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人宅で保管していた歴史資料の数が増え、保管場所が困難になった。 ・イベントで子どもたちに資料を見せるための運搬、展示準備が大変。（現在は個人倉庫の2階に保管しており、上げ下ろしが重労働となっている） ・急速に人口流入のある地域で、子どもの数も急増している。一方で高齢化もすすんでおり、新旧住民の交流が大きな課題となっている。 ・今まで、矢向、江ヶ崎の町が合同で企画するイベントがなかった。このプロジェクトをきっかけに両地域の交流を深めることができる。

<p>整備の効果（整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？）</p>	<p>バリアフリー、エイジフリーで地域の世代間交流の拠点となる。資料室は地域内2つの小学校で、授業に使用することができる。また、資料室の開放日やイベントを通して、地域の子どもやその保護者が、地域の歴史を学んだり、昔の生活を体験したりすることができる。また、地域の高齢者から、その使い方を習ったり一緒に遊んだりすることで、世代間交流を図り、地域の中で自然に顔の見える関係を築くことができる。地域の高齢者にとっては、自分たちのサロンの場所として活用したり、昔の遊びを子どもたちに教えたり、竹とんぼやお手玉といったおもちゃを作るなど、地域貢献ができ、介護予防にもつながる。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営（整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか？）</p>	<p>「矢向・江ヶ崎 歴史資料室世話人会（仮称）」を作り、管理運営する。イベント等も企画し、参加者からは参加費をもらう。その中から光熱水費をまかなう。町内会や地区社会福祉協議会が、この委員会をバックアップする。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料を展示するだけでなく、その資料室を利用して多世代が交流することを大切にしたいと考えている。子どもたちが遊べるスペースを設け、昔のおもちゃも置き、高齢者世代、子ども、その親世代が自然な形で交流できるようにする。またそのようなイベントも企画していく。 ・建設予定地は学校の一角であるが、道路にも面している。前方には学校の体験農園があり、横にはビオトープもある、好条件の敷地である。施設のデッキ部分にはベンチ等を置き、子どもたちだけでなく、保護者たちも一般の人でも気軽にひと休みできるような憩いのスペースとする。 ・資料の数は多いが、展示できる場所は限られるため、年に何度か、地域の人と子どもたちが、ともに展示物の入れ替え作業をする。 ・自治会、地区社会福祉協議会、PTA、地域の公的機関の運営委員が発起人にメンバーに入っており、協働できる。 ・あいねっと（鶴見区福祉保健計画）を通して、広く地域の人たちに呼びかけ、子育て支援、高齢者介護予防、障害者支援、ボランティア団体など、いろいろな立場の方の意見や協力をいただき、協働してこの事業をすすめる。

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
教育委員会 新鶴見小学校	連絡済み

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

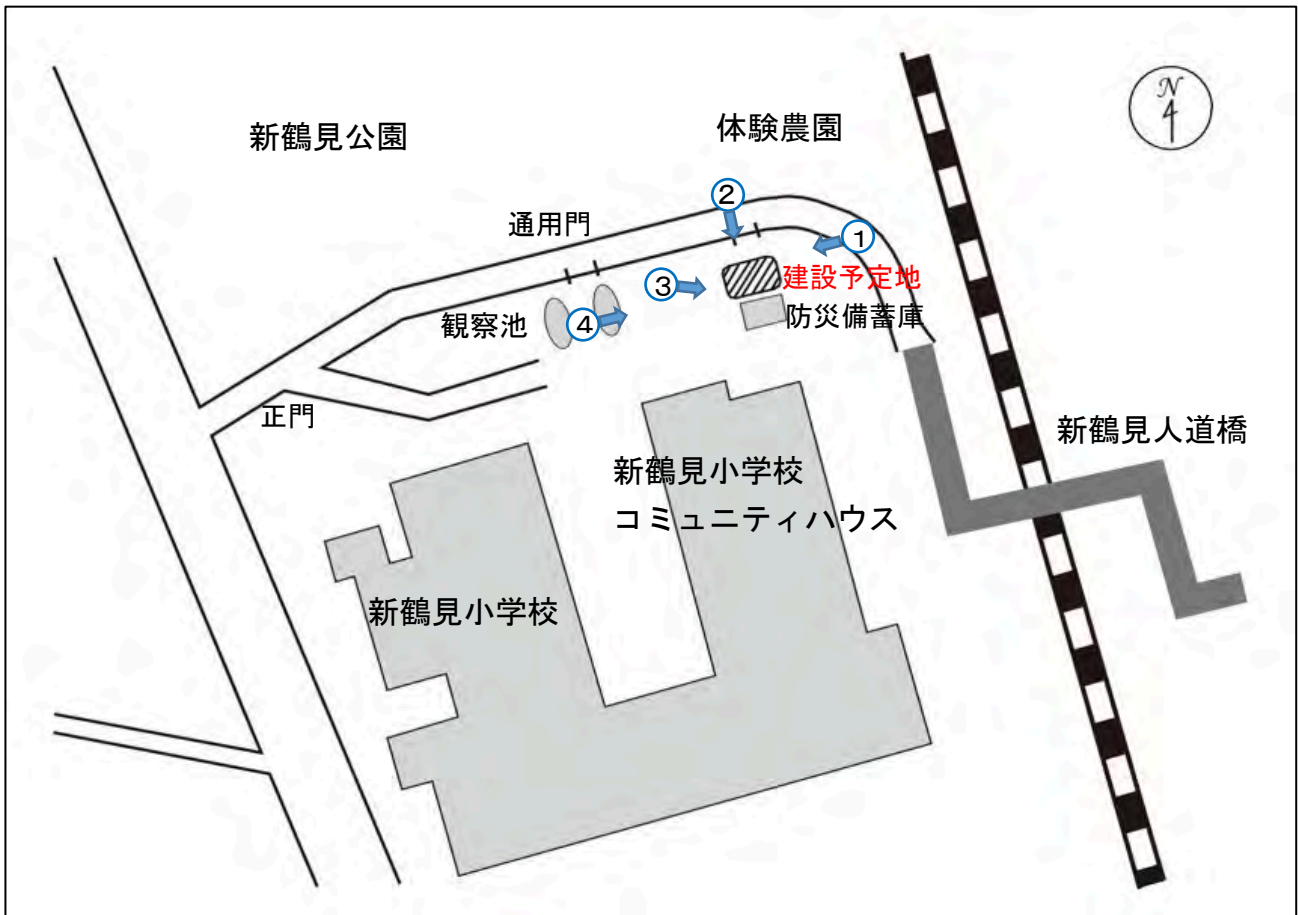
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報は含まれていません。

「矢向・江ヶ崎 歴史資料室（仮称）」

建設予定地： 横浜市鶴見区江ヶ崎町 新鶴見小学校コミュニティハウス横



現地見取り図（数字は添付写真撮影場所）



①



②



③



④

